

シリカ粉体系真空断熱材（VIP）仕様定温輸送パッケージ

TACPack[®]Premium Series



プラスチックフォームの総合メーカー

玉井化成株式会社

シリカ粉体系真空断熱材と発泡ポリスチレンを組み合わせた断熱容器を採用することで、自社製品である発泡ポリスチレンのみの断熱容器よりも、社内試験において定温保持時間を約2倍向上させた製品です。



【主な特徴】

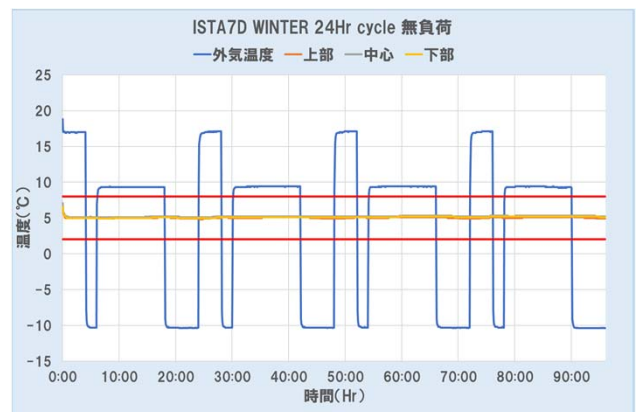
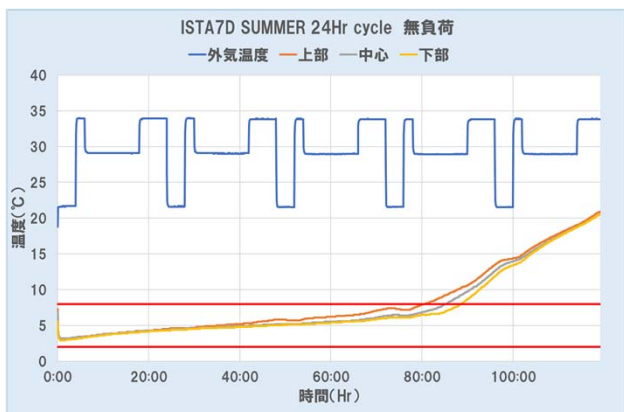
- 発泡ポリスチレン製TACPack®と比較して定温保持時間が延長されました。
- 専用の製品収納用内箱構造により、蓄熱材と収納する製品が直接触れることがない仕様であり、GDPガイドラインに適合した製品です。
- セキュリティーロックができるよう封緘付きです。
- 宅配便発送可能サイズで、荷室内容積を約20L確保しました。
- 各製品において「Qualification Report」を整備しております。

パッケージ概要

管理温度	外寸 (mm)	荷室 (mm)	重量 (kg)
2-8℃	約505×505×H473	約293×293×H255	約15

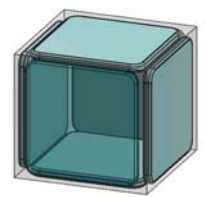
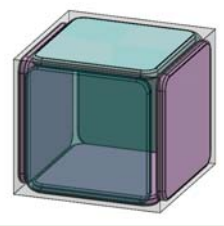
温度測定試験結果 (n=3試験での最短保持時間を表記しています。)

温度試験条件	無負荷	有負荷
ISTA7D SUMMER 24Hr cycle	約80時間	約83時間
ISTA7D WINTER 24Hr cycle	96時間以上	96時間以上



荷室内温度が各測定位置でほぼ同温度で推移する場合、上記グラフの各測定位置の温度推移が重なって見えます。

カネカ潜熱蓄熱材 PATTHERMO®事前調温方法

試験規格	蓄熱材数量	蓄熱材事前調温 (例)	蓄熱材配置 (水色:凝固 紫色:融解)
ISTA7D SUMMER 24Hr cycle	6枚	【全凝固】 PATTHEMO®F5を-20℃で24時間以上凝固後、2℃で調温し蓄熱材表面温度が2～5℃であることを確認し使用する。	 凝固：各面1枚
ISTA7D WINTER 24Hr cycle		【3枚凝固】 PATTHEMO®F5を-20℃で24時間以上凝固後、5℃で調温し蓄熱材表面温度が2～5℃であることを確認し使用する。 【3枚融解】 PATTHEMO®F5を約10～25℃で24時間以上放置後、5℃で調温し蓄熱材表面温度が5～8℃であることを確認し使用する。	 凝固：天面及び側面对面各1枚 融解：底面及び側面对面各1枚

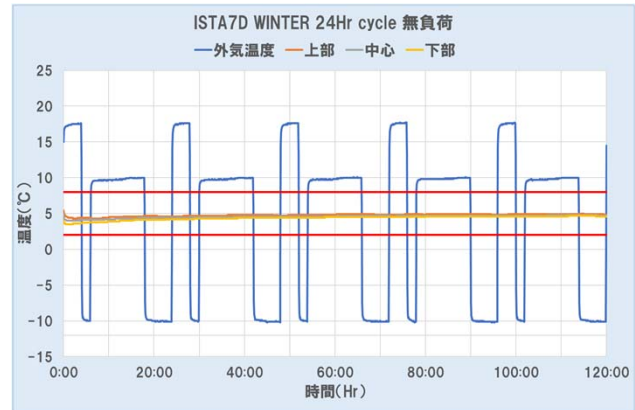
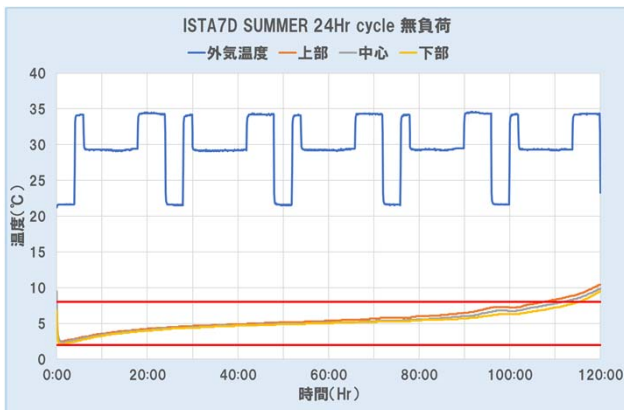
本カタログ内の各種数値・グラフは、社内試験結果であり実際の使用環境とは異なるため、本製品の温度保持機能や使用中の環境温度を保証するものではありません。

パッケージ概要

管理温度	外寸 (mm)	荷室 (mm)	重量 (kg)
2-8℃	約505×505×H473	約293×293×H205	約18

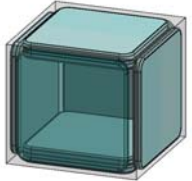
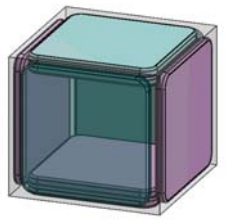
温度測定試験結果 (n=3試験での最短保持時間を表記しています。)

温度試験条件	無負荷	有負荷
ISTA7D SUMMER 24Hr cycle	約107時間	約110時間
ISTA7D WINTER 24Hr cycle	120時間以上	120時間以上



荷室内温度が各測定位置でほぼ同温度で推移する場合、上記グラフの各測定位置の温度推移が重なって見えます。

カネカ潜熱蓄熱材 PATTHERMO®事前調温方法

試験規格	蓄熱材数量	蓄熱材事前調温 (例)	蓄熱材配置 (水色:凝固 紫色:融解)
ISTA7D SUMMER 24Hr cycle	8枚	【全凝固】 PATTHERMO®F5を-20℃で24時間以上凝固後、2℃で調温し蓄熱材表面温度が2～5℃であることを確認し使用する。	 凝固：天面・底面各2枚、側面各1枚
ISTA7D WINTER 24Hr cycle		【4枚凝固】 PATTHERMO®F5を-20℃で24時間以上凝固後、5℃で調温し蓄熱材表面温度が2～5℃であることを確認し使用する。 【4枚融解】 PATTHERMO®F5を約10～25℃で24時間以上放置後、5℃で調温し蓄熱材表面温度が5～8℃であることを確認し使用する。	 凝固：天面2枚及び側面對面各1枚 融解：底面2枚及び側面對面各1枚

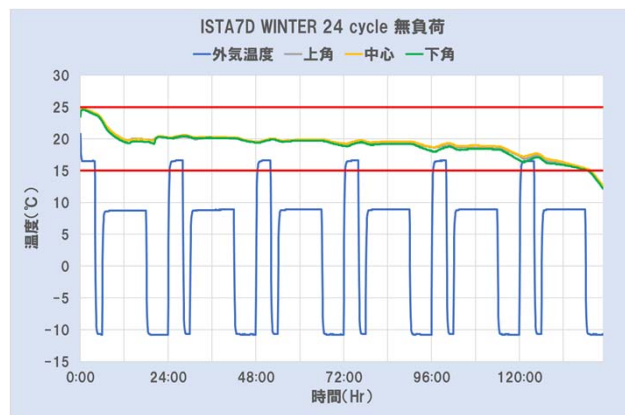
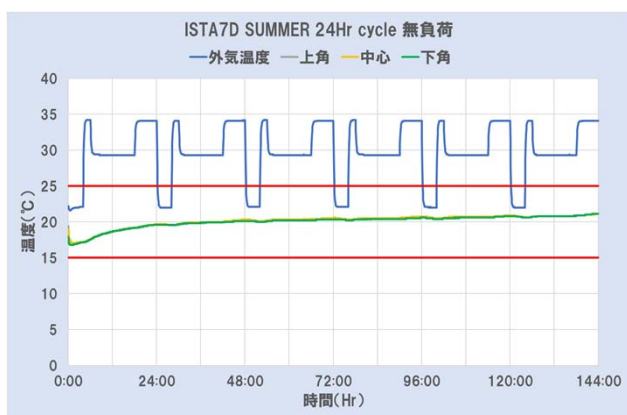
本カタログ内の各種数値・グラフは、社内試験結果であり実際の使用環境とは異なるため、本製品の温度保持機能や使用中の環境温度を保証するものではありません。

パッケージ概要

管理温度	外寸 (mm)	荷室 (mm)	重量 (kg)
15-25℃	約505×505×H473	約293×293×H255	約12.5

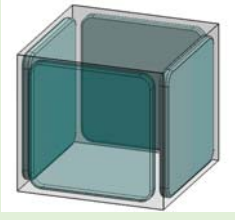
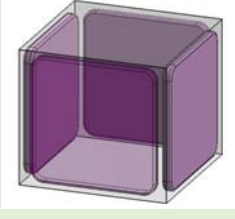
温度測定試験結果 (n=3試験での最短保持時間を表記しています。)

温度試験条件	無負荷
ISTA7D SUMMER 24Hr cycle	144時間以上
ISTA7D WINTER 24Hr cycle	約133時間



荷室内温度が各測定位置でほぼ同温度で推移する場合、上記グラフの各測定位置の温度推移が重なって見えます。

カネカ潜熱蓄熱材 PATTHERMO®事前調温方法

試験規格	蓄熱材数量	蓄熱材事前調温 (例)	蓄熱材配置 (水色:凝固 紫色:融解)
ISTA7D SUMMER 24Hr cycle	4枚	【全凝固】 PATTHERMO®F20を5℃で24時間以上凝固後、15℃で調温し蓄熱材表面温度が15～20℃であることを確認し使用する。	 凝固：側面各1枚
ISTA7D WINTER 24Hr cycle		【全融解】 PATTHERMO®F20を25～35℃で融解後、20℃で調温し蓄熱材表面温度が20～25℃であることを確認し使用する。	 融解：側面各1枚

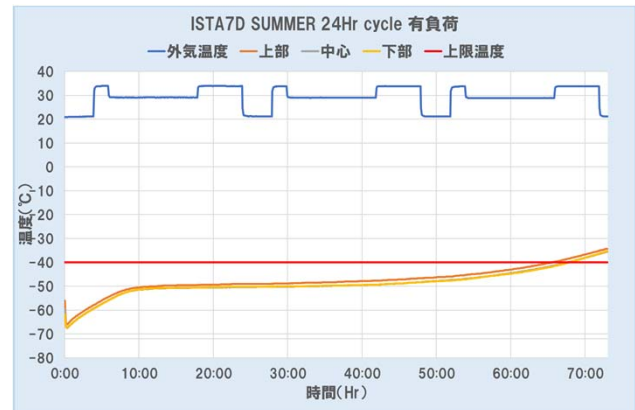
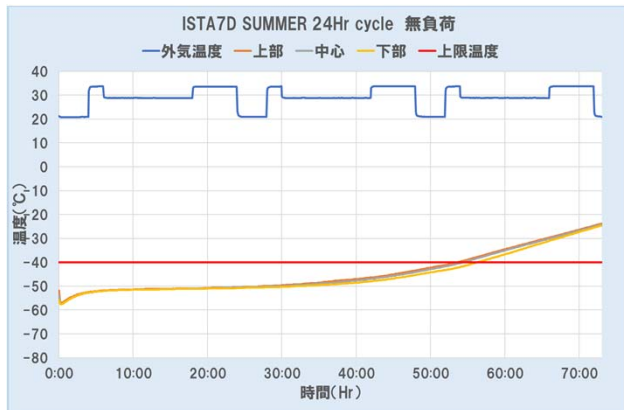
本カタログ内の各種数値・グラフは、社内試験結果であり実際の使用環境とは異なるため、本製品の温度保持機能や使用中の環境温度を保証するものではありません。

パッケージ概要

管理温度	外寸 (mm)	荷室 (mm)	重量 (kg)
-40℃以下	約505×505×H473	約293×293×H205	約20

温度測定試験結果（n=3試験での最短保持時間を表記しています。）

温度試験条件	無負荷	有負荷
ISTA7D SUMMER 24Hr cycle	約53時間	約55時間
ISTA7D WINTER 24Hr cycle	約77時間	約85時間



荷室内温度が各測定位置でほぼ同温度で推移する場合、上記グラフの各測定位置の温度推移が重なって見えます。

カネカ潜熱蓄熱材 PATTHERMO®事前調温方法

試験規格	蓄熱材数量	蓄熱材事前調温	蓄熱材配置 (水色:凝固 紫色:融解)
ISTA7D SUMMER 24Hr cycle	8枚	【全凝固】 PATTHERMO®CV-50を-80℃で72時間以上放置し凝固させ使用する。 <蓄熱材の調温ならびに梱包する際は、凍傷の危険性があるため、必ず保護手袋を着用して下さい。>	 凝固：天面3枚、底面1枚、側面各1枚
ISTA7D WINTER 24Hr cycle			

本カタログ内の各種数値・グラフは、社内試験結果であり実際の使用環境とは異なるため、本製品の温度保持機能や使用中の環境温度を保証するものではありません。

2021.8.6

融点が約-70℃にあるカネカ潜熱蓄熱材 PATTHERMO[®] CV-70の開発に成功し、シリカ粉体系真空断熱材と発泡ポリスチレンを組み合わせた断熱容器に配置することで、ドライアイスを用いることなく-60℃以下を一定時間保持する結果を取得した新たなTACPack[®] Premiumシリーズをラインアップ致しました。



【主な特徴】

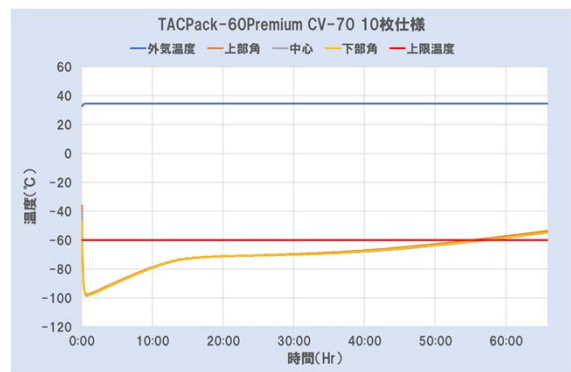
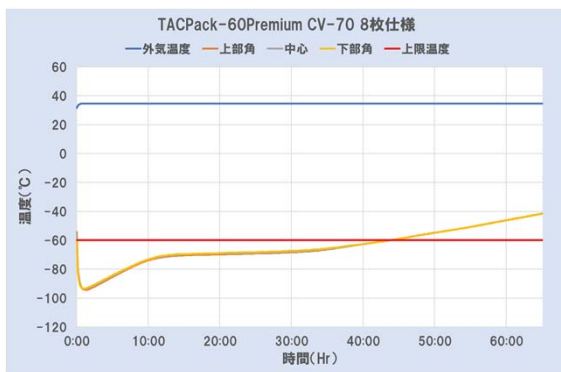
- ドライアイスを使用せず、一定時間-60℃以下を定温保持する結果を取得したパッケージです。
- 専用の製品収納用内箱構造により、蓄熱材と収納する製品が直接触れることがない仕様であり、GDPガイドラインに適合した製品です。
- セキュリティーロックができるよう封緘付きです。
- 宅配便発送可能サイズで、荷室内容積を約14L~18L確保しました。
- 各製品において「Qualification Report」を整備しております。

パッケージ概要

管理温度	外寸 (mm)	蓄熱材 (枚)	荷室 (mm)	重量 (kg)
-60℃以下	約505×505×H473	8	約293×293×H205	約25
		10	約293×293×H160	約30

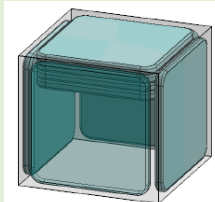
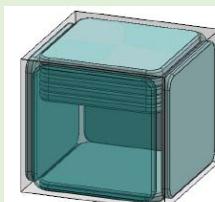
温度測定試験結果 (n=3試験での最短保持時間を表記しています。)

温度試験条件	蓄熱材 (枚)	無負荷
35℃一定	8	約43時間
	10	約55時間



荷室内温度が各測定位置でほぼ同温度で推移する場合、上記グラフの各測定位置の温度推移が重なって見えます。

カネカ潜熱蓄熱材 PATTHERMO®事前調温方法

試験条件	蓄熱材数量	蓄熱材事前調温	蓄熱材配置 (水色:凝固 紫色:融解)
35℃一定	8枚	【全凝固】 PATTHERMO®CV-70を -120℃で48時間以上放置し 凝固させ使用する。	 凝固：天面4枚、側面各1枚
	10枚	<蓄熱材の調温ならびに梱包する際は、凍傷の危険性があるため、必ず保護手袋を着用して下さい。>	 凝固：天面5枚、底面1枚、側面各1枚

本カタログ内の各種数値・グラフは、社内試験結果であり実際の使用環境とは異なるため、本製品の温度保持機能や使用中の環境温度を保証するものではありません。

2021.12.8